

(別紙様式)

## 平成25年度魅力ある学校づくり調査研究事業ブロック協議会資料

都道府県・政令指定都市教育委員会名〔神戸市〕

## 1 拠点校及び連携校

区 分	学 校 名	学級数	児童生徒数
拠点校（中学校）	神戸市立井吹台中学校	29（1）	1081
連携校 （拠点校中学校区 内の小学校）	神戸市立井吹東小学校	48（4）	1600
	神戸市立井吹西小学校	30（3）	949
		（ ）	
		（ ）	

※学級数の（ ）には、特別支援学級数を内数として記入

※学級数及び児童生徒数は平成25年5月1日現在で記入

## 2 意識調査(アンケート共通項目)※集計結果を%で示す。(％は小数第2位を四捨五入) (%)

学校種	学年等	実施時期	児童生徒数(人)	ア 学校が楽しい				イ みんなで何かをするのは楽しい				ウ 授業に主体的に取り組んでいる				エ 授業がよくわかる			
				1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
中学校	全学年計	前年①	1058	30.9	50.9	14.0	4.2	46.9	42.6	8.8	1.7	22.4	57.6	17.5	2.5	23.9	54.1	17.8	4.2
		前年②	1064	43.2	41.1	11.2	4.5	56.7	34.9	6.5	1.9	27.2	53.0	16.5	3.3	20.8	54.0	19.8	5.5
		本年①	1042	46.6	39.8	10.0	3.6	60.7	32.1	5.9	1.3	35.9	48.8	13.7	1.6	31.0	49.8	15.1	4.2
	3	中2①	318	30.5	52.8	13.5	3.1	49.7	39.9	9.7	0.6	19.7	57.6	20.1	2.5	18.7	57.3	19.6	4.4
		中2②	336	42.3	42.3	9.5	6.0	56.7	33.4	6.9	3.0	24.6	53.3	17.1	5.1	20.2	51.8	20.8	7.1
		中3①	330	45.5	43.0	8.8	2.7	61.8	31.2	7.0	0	33.3	54.5	10.9	1.2	22.4	54.8	16.4	6.4
	2	中1①	378	40.2	48.4	10.1	1.3	56.6	38.6	4.2	0.5	25.0	58.5	15.7	0.8	38.5	52.0	8.5	1.1
		中1②	372	43.0	43.5	11.6	1.9	57.1	37.2	4.6	1.1	23.2	53.1	20.8	3.0	24.2	55.4	17.1	3.3
		中2①	367	37.3	44.7	13.1	4.9	48.5	41.4	7.9	2.2	22.3	53.4	21.3	3.0	20.4	52.8	22.1	4.7
	1	小6①	397	56.2	33.8	5.5	4.5	66.0	28.0	5.5	0.5	35.5	48.6	14.9	1.0	50.4	37.3	10.6	1.8
		小6②	393	49.4	36.6	9.4	4.6	68.4	24.7	5.4	1.5	35.2	45.4	16.3	3.1	41.7	42.2	12.2	3.8
		中1①	345	57.7	31.6	7.8	2.9	72.8	22.9	2.6	1.7	52.8	38.5	8.2	0.6	50.3	41.9	6.4	1.5
小学校	高学年計	前年①	823	51.5	37.5	7.2	3.8	65.7	27.5	6.0	0.9	34.6	48.8	14.9	1.6	52.3	37.6	8.4	1.7
		前年②	813	50.3	35.9	10.0	3.8	68.6	25.2	4.9	1.2	34.6	48.3	15.0	2.1	47.2	38.7	11.3	2.7
		本年①	835	58.1	31.3	8.4	2.3	70.4	24.4	4.7	0.5	36.4	49.5	12.5	1.7	58.8	34.1	5.4	1.7
	6	小5①	426	47.2	41.1	8.7	3.1	65.5	27.0	6.3	1.2	33.8	49.1	15.0	2.1	54.1	37.9	6.4	1.6
		小5②	420	51.2	35.2	10.5	3.1	68.8	25.7	4.5	1.0	34.0	51.0	13.8	1.2	52.4	35.5	10.5	1.7
		小6①	421	55.3	33.7	7.8	3.1	66.5	27.8	5.2	0.5	35.6	50.4	12.1	1.9	58.4	34.2	5.5	1.9
	5	小5①	414	60.9	28.7	8.9	1.4	74.4	21.0	4.1	0.5	37.2	48.6	12.8	1.4	59.2	34.1	5.3	1.4

学校種	学年等	児童生徒数(人)	オ 叩かれたり、けられたり、強く押されたりした				カ 暴力ではないが、いじわるをされたり、イヤな思いをさせられた				キ 叩いたり、けったり、強く押したりした				ク 暴力ではないが、いじわるをしたり、イヤな思いをさせた			
			1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
中学校	全学年計	1032	83.0	4.0	9.6	3.4	80.4	4.8	10.5	4.3	85.1	2.8	8.3	3.8	85.2	2.3	8.5	4.0
	3年	329	88.4	3.3	5.2	3.0	86.6	3.6	7.0	2.7	91.2	1.8	5.8	1.2	92.1	1.5	5.2	1.2
	2年	364	81.0	0.2	12.9	3.8	77.5	5.2	12.6	4.7	79.3	3.3	11.0	6.4	77.6	3.0	13.5	5.8
	1年	339	79.9	6.5	10.3	3.2	77.4	5.6	11.7	5.3	85.3	3.2	7.9	3.5	86.5	2.3	6.5	4.7
小学校	高学年計	835	72.7	17.5	5.1	4.7	65.9	23.7	5.3	5.1	81.2	14.6	2.0	2.2	79.0	17.8	1.6	1.6
	6年	421	69.1	19.7	6.2	5.0	66.5	22.8	5.9	4.8	76.0	18.5	3.1	2.4	76.0	20.4	1.7	1.9
	5年	414	76.3	15.2	4.1	4.3	65.2	24.6	4.6	5.6	86.5	10.6	1.0	1.9	82.1	15.2	1.4	1.2

※小学校は連携校の合計

※実施時期の第1回(①)は5月ごろ、第2回(②)は12月ごろに実施

※「オ」～「ク」の項目の調査は平成25年度から実施

### 3 課題・目標・取組

課題	大規模校に起因する人間関係の希薄さとコミュニケーション能力の低さ。問題解決力や創意工夫、自主的な取組に消極的。苦手意識の強さ。
目標	児童生徒が主体的に学ぼうとすることのできる授業の創造と「分かる授業」推進。自己の力を知り、積極的に自己啓発のできる姿の育成。
取組	基礎基本の定着を図る学習指導と、「話す・聞く」力の育成。学習指導面での学校間連携。児童生徒の主体性を重視した学校、学年行事の実施。

### 4 意識調査結果の分析

#### (1) 好ましいと思われる事項

小・中共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ア」～「エ」は、第1回、第2回と比較して「当てはまる」「どちらか」というと当てはまる」の回答率が増加傾向にあり、学校生活を肯定的にとらえている児童生徒が増加している。</li> <li>・「オ」～「ク」は、学年が上がるにつれ「まったくなかった」の回答率が高くなる傾向にあり、安心して学校生活を送れている児童生徒が増加している。</li> </ul>
中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生はどの項目も肯定的な回答が増加している。特に、「ウ 授業に主体的に取り組んでいる」は、「当てはまる」の回答率が小学校の時の35.2%から52.8%に増加した。中1ギャップの解消への取組の成果が表れたのではないかと考えられる。</li> <li>・3年生でもどの項目も肯定的な回答が増加している。5月に修学旅行へ行き、仲間と楽しく過ごし、進路選択に向け意欲的に学習に取り組むことができたことが原因と考えられる。</li> </ul>
小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ア 学校が楽しい」の項目は、「当てはまる」の回答率が増加している。特別活動(委員会活動や学校行事等)で、児童の活躍の場を増やす取組の成果ではないかと考えられる。</li> </ul>

## (2) 好ましくないと思われる事項

小・中共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に良好であるが、課題をかかえる児童生徒に目を向ける必要がある。</li> <li>・「エ 授業がよくわかる」は、学習内容が難しくなるためだけでなく、小学生に比べ中学生で「あてはまる」の回答率が大きく減少している。発展的・応用的な学習内容が増えるためだと考えられる。「わかる授業」への取組をより深める必要がある。</li> </ul>
中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年生はどの項目も肯定的な回答が減少している。思春期に入り、生活指導面、学習面でよりきめ細やかな個別指導や、学年・学校行事の活性化等による学校生活に向けた取組が必要であると思われる。</li> </ul>
小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ウ 授業に主体的に取り組んでいる」は、肯定的な回答が学校、学年によって差が大きい。教師の授業研究の成果が見られるが、更に深めていく必要がある。</li> </ul>

## 5 取組事項

小・中共通	<p>①主体的な学びを目指す、分かる授業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎基本の確実な定着に向けた「分かる授業」、補充学習の推進</li> <li>・小中合同研修会の充実（教科別研修・児童生徒理解研修）</li> <li>・小中連携、小小連携の推進（教科指導での連携も含む）</li> <li>・「話す・聞く」力をつける授業研究</li> <li>・朝の読書や読み聞かせ</li> </ul> <p>②コミュニケーション能力の向上を目指す小中連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3校連携による授業公開と日々の実践交流</li> <li>・学校行事や学年行事を児童生徒が主体的に取り組むための、実行委員活動の活性化</li> <li>・部活動や体育的行事の活性化</li> <li>・6年生全児童が中学校を訪問する「オープンジュニアハイスクール」事業の推進</li> <li>・中学校の教員による小学校での「乗り入れ授業」の実施や6年生児童の行事参観</li> <li>・あいさつ運動</li> </ul>
中学校	<p>①主体的な学びを目指す、分かる授業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生全クラスにおける数学の少人数授業の実施</li> <li>・1年生からの進路指導の充実（キャリア教育）</li> <li>・教材教具の有効活用</li> </ul> <p>②コミュニケーション能力の向上を目指す取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育大会における組体操、マスゲームの企画実施</li> <li>・生活ノートによる生徒・教員との心の交流</li> <li>・教育相談週間やカウンセリングの機会の充実</li> <li>・学級対抗学年行事の実施</li> </ul>

小学校	<p>①主体的な学びを目指す、分かる授業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科担任制と少人数学習集団の編成の組合せた「兵庫型教科担任制」の推進による小中学校間の円滑な接続と学力向上</li> <li>・教科指導の研修会の充実</li> </ul> <p>②コミュニケーション能力の向上を目指す小小連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5年生「自然学校」において合同プログラムの実施</li> <li>・各行事での委員会活動の積極的活用</li> <li>・福祉体験学習の実施</li> <li>・外部講師の「読み聞かせの会」</li> <li>・防災学習の実施</li> </ul>
-----	--

## 6 取組内容

### (1) 事業実施計画書に記載した月別実施内容

月	小学校で行う主な内容	実施状況	中学校で行う主な内容	実施状況
4月	学級経営・児童理解研修(井吹東)① 子どもを見合う週間(井吹西小)① あいさつ運動(共通)②	○ ○ ○	第1回小中連絡協議会 第1回連絡協議会[東京](小・中)	○ ○
5月	学級経営・児童理解研修(井吹西)① 地区別縦割り班活動② ベテランによる授業提案(井吹西)① いぶキッズスポーツデー(井吹東)②	○ ○ ○ ○	教育委員会訪問 第1回三校連絡会【小中合同】 授業研究週間(全学年) 第1回調査研究委員会 第1回意識調査(全学年)	○ ○ ○ ○ ○
6月	運動会、実行委員会(共通)② いぶキッズスポーツデー(井吹東)②	○ ○	文部科学省学校訪問 教育相談週間(全学年) 福祉体験学習(1年) 人権学習(1年) 出前授業 授業交流 第2回三校連絡会【小中合同】	○ ○ △ ○ ○ ○
7月	ともランコンサート(井吹東)② スポーツ活動、実行委員会(井吹西小5・6年)②	○ ○	学級対抗学年行事(全学年) 第3回三校連絡会【小中合同】	○ ○
8月	夏休みがんばり勉強(共通)① 校内研修(共通)①	○ ○	体育会実行委員会(全学年) 合同研修会【小中合同】教科指導面での研修 リーダー研修 第2回小中連絡協議会 教育委員会訪問	○ ○  ○ △ ×
9月	あいさつ運動(共通)② いぶキッズスポーツデー(井吹東)② 分かる授業アンケート(共通)①		組み体操、マスゲーム、生徒による学年間指導(体育会)(全学年) 合同研修会【小中合同】教科指導面での研修 第2回調査研究委員会 第3回三校連絡会【小中合同】 教育委員会訪問	

10月	自然学校合同行事（5年生共通）② リレー大会実行委員会（井吹東1～4年）② ギネスに挑戦（井吹東）② スポーツ活動（井吹西3～6年）②		生徒による合唱コンクール練習（全学年） トライやるウィーク（2年） 中学校文化祭への招待【小中合同】 第4回三校連絡会【小中合同】	
11月	音楽鑑賞会（共通）② 代表授業研修（共通）① ながなわ大会（井吹西）② いぶキッズスポーツデー（井吹東）②		ブロック協議会（大阪府）（小・中） オープンジュニアハイスクール【小中合同】 教育相談週間（全学年） 授業研究週間（小中） 第5回三校連絡会【小中合同】	
12月	ともランコンサート（井吹東）② スポーツ活動（井吹西5～6年）② いぶキッズスポーツデー（井吹東）②		第6回三校連絡会【小中合同】 第3回小中連絡協議会 第2回アンケート調査 教育委員会訪問	
1月	防災学習（共通）②		防災学習 学校評価 第7回三校連絡会【小中合同】 リーフレット作成 第3回調査研究委員会	
2月	読み聞かせの会（共通）① いぶキッズスポーツデー（井吹東）② いぶきっ子まつり（井吹東小）②		第8回三校連絡会【小中合同】 第2回連絡協議会（東京）【小中合同】 学級対抗学年行事（全学年）	
3月	あいさつ運動（共通）② 6年生奉仕活動（共通）② ともランコンサート（井吹東）② さよなら会（共通）② スポーツ大会（井吹西3～6年）②		第9回三校連絡会【小中合同】 3年生奉仕活動	

## （2）8月末までに実施した具体的な取組

### 〔小・中共通〕

#### ① 中学校教員による小学校での「出前授業」（小6、数学）

6月27日の3,4校時に、6人の中学校の数学教師が2つの小学校へ行き、「ベレナスの輪」「ガウスの子供の頃の逸話」「文字の式の利用」などの授業を行った。

「楽しかった」「思っていたよりもよくわかった」と授業後の小学生の感想にあり、中学校で学習についていけなくなるかもしれないという先入観をある程度取り払うことができた。

「中学校に行くのが楽しみになった」という感想から、中学校に不安を抱いている児童に安心感を与える一助になった。



### 〔中学校〕

#### ① 3年生全クラスにおける数学の少人数授業の実施

生徒・保護者の希望により、各クラスを「練習コース」と「基礎コース」に分けて実施している。両コースとも、数学科の教員が担当し、基本的に同じ内容で授業していく。本校は、新興住宅地にあり地域の進学に対する意識が高く、基礎コースにも約10名が希望している。

基礎コースは、より丁寧に分かりやすい授業を心がけるため、進度が遅くなることもあるが、一人一人に手厚く学習指導を行うことができ、効果を挙げている。また、生徒たちも意欲的に学習している。



## ② オアシス（教育相談室）の利用

大規模校であっても、保健室は1つ、養護教諭が2人、スクールカウンセラー1人で、心の悩みを十分に聴くための施設、人員が不足する現状がある。そこで、悩みを持っている生徒や、学習に不安を感じている生徒などを、毎日1～3校時の3時間、別室を開設し、教員も指導に当たっている。遊び・非行の生徒を対象とせず、大規模校で職員が多いからこそできるしくみである。不登校の未然防止として、「オアシス」を利用することで、生活のリズムを保ち、心理的な負担の軽減が図られている。



## 〔小学校〕

- ① 主体的な学びを目指す、分かる授業の推進（教科指導研究会の充実）両小学校  
コミュニケーション能力の向上については、「学級づくり」と「分かる授業の推進」を目指し、5月に各学年ベテランの教員が授業を公開し、その後授業づくりの疑問・悩みについて討議をした。また、「声を出すことは楽しい」と子どもたちが感じられるよう、全校の取組として音読タイムなどを設け、日々取り組んでいる。夏休みには、講師を招き「授業って楽しい！」と子どもが感じる授業づくりについての講話をしていただいた。2学期からの授業が楽しみになったと感じることのできる、よい時間を持つことができた。



## ② もくもくそうじ 両小学校

昨年度より、「学校を美しく！」をテーマに児童と教職員がともに「もくもくそうじ」に取り組んでいる。15分間、学級の友達と協力し、教室や廊下、階段などの汚れたところをきれいにしている。1年生が清掃活動に励んでほしいと、6年生が手作りの「頑張ったねカード」を作成して1年生に渡すなど、全校的に清掃活動への意識の高まりが見られるようになってきた。



## 7 8月末までの取組状況と課題（第1回意識調査結果を踏まえた内容を含む）

### （1）順調に進んでいる事項

小・中共通	<p>① 小中合同研修会の充実（教科別研修・児童生徒理解研修） 8月に教科別に小グループに分かれ、具体的な情報交換を行い、小中・小小間の理解が深まった。</p> <p>② 中学校教員による小学校での「乗り入れ授業」の実施 小学生が持っている中学校の授業は難しいという先入観を取り、授業内容に興味を持たせることができた。</p>
中学校	<p>① 3年生全クラスにおける数学の少人数授業の実施 意識調査の結果でも、3年生で「授業がよくわかる」の項目で肯定的な回答が増えた。</p>
小学校	<p>① 教科指導の研修会の充実 ベテラン教師が授業を公開し、その後、授業づくりの疑問・悩みについて討議し、若手教師の授業力を向上させている。</p> <p>② 各行事での委員会活動の積極的活用 代表委員会による運動会、応援団の活躍した。学年行事実施に向けて実行委員が企画、運営した。</p>

### （2）課題となっている事項

小・中共通	<p>① 「話す・聞く」力をつける授業研究 8月の小中合同研修会では、教科の情報交換をした段階で終わっている。まだ、取組が始まったばかりであり、今後どのように生かしていくかを考える必要がある。</p>
中学校	<p>① 教育相談週間やカウンセリングの機会の充実 6月に全生徒を対象に教育相談週間を実施したが、もう少し早い時期に持つことができれば、早期対応ができる。</p> <p>② 教材教具の有効活用 「分かる授業」への取組として、小学校で行われているような十分な校内研修はできていない。</p>
小学校	<p>① 主体的な学びを目指す、分かる授業の推進 さらに、教員研修を進める必要がある。</p>

## 8 9月以降の重点推進事項

小・中共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8月の小中合同研修会だけでは十分でないため、9月に中学校での授業を小学校の先生が参観し、「話す・聞く」力をつける授業について議論を深めていく。</li> <li>・すべての教職員に周知徹底して伝えるための校内研修の充実</li> <li>・6年生児童が中学校の行事を参観</li> <li>・6年生全児童が中学校を訪問する「オープンジュニアハイスクール」事業の推進</li> </ul>
中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カウンセリング機会の充実</li> </ul>



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体育大会における組体操、マスゲームの企画実施</li> <li>・ 学級対抗学年行事の実施</li> </ul>
小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「分かる授業」の推進</li> <li>・ 5年生「自然学校」において合同プログラムの実施</li> </ul>

## 9 教育委員会の取組

### (1) 市町村教育委員会

#### 〔重点推進事項〕

#### ・ 小中連携の推進

小・中学校9年間の発達や学びを確保する観点から、恒常的な取組としての小中連携や小小連携の推進を支援し、行事などの児童生徒の交流や合同研修などの教員の交流だけでなく、「小中一貫カリキュラム」の作成などの教育課程の編成等、効果的な取組を全市へ普及啓発を行う。

#### ・ スクールカウンセラー配置事業

「心の専門家」であるスクールカウンセラーを増員し、平成25年度は全中学校区に原則2名配置し、子どもたちの心の相談に当たることにより、問題行動等の未然防止や早期発見・早期解決を図るなど、スクールカウンセラーを活用する際の諸課題について研究を行い、児童生徒の問題行動等の課題解決に資する。（※井吹中学校区には3名を配置）

#### ・ 分かる授業推進プラン

「分かる授業」を推進するために、①授業の改善、②教えるプロの育成、③新しい教材の開発と活用、④家庭学習支援・地域力の活用を4つの柱として全市で取組の充実を図る。

#### 〔成果と課題〕

- 小中連携については、約9割の小・中学校が学習指導等の共同研究や合同研修を実施しており、全市的な広がりが見られる。
- スクールカウンセラーについては、全中学校区に原則2名を配置し、すべての小中学校において定期的にカウンセリングを実施し、不登校の未然防止に向けた体制が整備された。
- 「分かる授業」推進については、授業改善、授業力向上、教材開発等、具体的な取組が進んできている。
- 学習指導等の合同研修から、「小中一貫カリキュラム」の作成へと小中連携の発展・深化をいっそう推進していく。
- スクールカウンセラーの効果的な活用について、先進校の取組をさらに普及・啓発していく必要がある。
- 「分かる授業」に関する具体的な取組をさらに学校間で交流・普及していく必要がある。

## 10 関連URL（※本事業に関連するものがあれば、ご紹介ください。）

#### 【問い合わせ先】

所属	神戸市教育委員会 指導課			電話	078-322-5786	
職名	指導主事	氏名	木山 正規	よみがな	きやま	まさのり